

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2019-44260(P2019-44260A)

【公開日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-011

【出願番号】特願2018-101170(P2018-101170)

【国際特許分類】

B 2 2 F	1/00	(2006.01)
C 2 2 C	9/00	(2006.01)
C 2 2 F	1/08	(2006.01)
B 2 2 F	3/105	(2006.01)
B 2 2 F	3/16	(2006.01)
B 2 2 F	3/24	(2006.01)
B 3 3 Y	70/00	(2020.01)
B 3 3 Y	40/00	(2020.01)
B 3 3 Y	10/00	(2015.01)
B 3 3 Y	80/00	(2015.01)
C 2 2 F	1/00	(2006.01)

【F I】

B 2 2 F	1/00	L
C 2 2 C	9/00	
C 2 2 F	1/08	A
B 2 2 F	3/105	
B 2 2 F	3/16	
B 2 2 F	3/24	C
B 3 3 Y	70/00	
B 3 3 Y	40/00	
B 3 3 Y	10/00	
B 3 3 Y	80/00	
C 2 2 F	1/00	6 2 1
C 2 2 F	1/00	6 0 2
C 2 2 F	1/00	6 9 1 B
C 2 2 F	1/00	6 6 1 A
C 2 2 F	1/00	6 3 0 A
C 2 2 F	1/00	6 5 0 F
C 2 2 F	1/00	6 2 8
C 2 2 F	1/00	6 3 0 K
C 2 2 F	1/00	6 9 1 C
C 2 2 F	1/00	6 9 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月31日(2020.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

付加製造用の銅合金粉末であつて、
 $\text{Cr} : 1.1 \sim 2.0$ 質量% (ただし、 Cr が 2.80 質量% 以下である場合を除く)、
 $\text{Zr} : 0 \sim 0.2$ 質量%、残部が Cu および不可避的不純物からなる、
銅合金粉末。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された銅合金粉末を用いて付加製造された積層造形物の熱処理方法であつて、

前記積層造形物を 300 ~ 800 で保持する、
積層造形物の熱処理方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載された銅合金粉末の薄層を形成する第 1 工程と、前記薄層の所定位置に電磁波ビームを照射して前記銅合金粉末を溶融・凝固させる第 2 工程とを順次繰り返して積層造形物を作製する造形工程と、

前記積層造形物を 300 ~ 800 で保持する熱処理工程とを有する、
銅合金造形物の製造方法。

【請求項 4】

前記電磁波ビームがレーザー光である、
請求項 3 に記載の銅合金造形物の製造方法。

【請求項 5】

銅合金の積層構造を有する造形物であつて、
前記銅合金は $\text{Cr} : 0.1 \sim 2.0$ 質量% (ただし、 Cr が 2.80 質量% 以下である場合を除く)、 $\text{Zr} : 0 \sim 0.2$ 質量%、残部が Cu および不可避的不純物からなり、
室温における電気伝導率が 65 % IACS 以上であるか、または
0.2 % 耐力が 150 MPa 以上で引張強さが 300 MPa 以上である、
銅合金造形物。